

職員リレーエッセイ

『 相談支援で大切にしている事 』

南区障害者基幹相談支援センター 相談支援専門員 儀保高雄

現在は、南区障害者基幹相談支援センターで相談支援専門員として、障害当事者、ご家族、支援者等々の相談支援に従事し、自立支援連絡協議会を通じて障害者が地域でより良い生活を送れるよう、地域づくりや地域の課題解決のための仕組みづくりなどに従事しています。日々の業務を通じて感じた事、大切だと思う事。また、研修会などでもお伝えしている内容やごくごく当たり前のことですが、時々思い出してほしい事も明記したいと思います。

● 『有能』 『有用』

有能である事は誰でも望む事かもしれませんが、しかし、大切な事は有能であるよりも有用（有益）な人、必要とされる人だと思います。言葉を代えると、目の前で困っている人に必要とされる支援を提供しているか、必要な支援者であるかを考える事が大切です。

● 『あなたのために』 『あなたの立場で』

あなたのためにと言う事は良く聞き、実際に使う言葉かもしれませんが、しかし、あなたのためにと言いつつ支援者のしたい支援の押しつけだったり、支援者の都合だったりする場合があります。その方法しか知らないという事もあるのかも知れません。基本的には『あなたの立場で』というスタンスで支援を考えていく事が大切だと思います。

● 『困り感』を大切に

障害者基幹相談は、障害者の支援機関ですが、介入する部分は当事者の主訴や困り感です。障害ではなく困り感からアプローチしていきます。診断や障害特性等を確認する事は当然必要な事ですが、大切なのは当事者の主訴や困り感です。

また、家族や支援者の困り感も大切ですが、一番大切な事は、当事者の困り感です。家族が困っていても当事者本人が困っていないと、なかなか支援が進みません。また、その人の困り感は、その人の支援者が引き出す事が大切です。

● 『自己選択』 『自己決定』の大切さ

自己決定や自己選択は、ごく当たり前のことで、支援者の皆さんも大切にしている事だと思いますが、改めて自己選択・自己決定の大切さを伝えておきたいと思います。自分で選んで決めるからこそ、難しい事にも挑戦していけます。自分で選んで決めたからこそ、失敗しても立ち直りが早いのです。自分で選んで、決めたからこそ続けていけるのです。

● 『支援しすぎない事』の大切さ

支援が上手いかななくなる理由の一つに、支援しすぎてしまう事があると思います。行き過ぎた支援は、長続きしません。支援は少し足りないくらいでちょうど良いと思います。本人の努力の余地を残しておく事が大切。本人が困り、本人が努力し、本人が問題解決する事がなにより大切なのです。

支援者は、本人が困らないようにと頑張りすぎてしまいがちですが、本人が困る事や失敗する事も必要なのです。失敗する事で人は成長する一面もあるのです。

次のリレーエッセイは、ニコニコホームの松澤さんへ繋がります。

低料第三種郵便物承認

平成 年 月 日発行（増刊）

A J Uニコニコハウス通信（第309号）（ 7 ）